

# 講演会

## 甲子園浜と大阪湾の生物の

### 現状とその変化



日時：2024年11月2日(土) 10時30分～12時

場所：甲子園浜自然環境センター1階研修室

甲子園浜では 20 年前には潮干狩りでアサリなどが獲れ、2008 年にはホンビノスガイが発見されました。今は波打ち際にアサリの貝殻も僅かにしかみられず、ホンビノスガイも姿を消してしまいました。

アサリの減少は大阪湾の他の浜でも同様で、アサリに変わってクチバガイがよく見られます。

ホンビノスガイは現在も大阪市から忠岡の港湾内にみられるが、単純な砂泥の浜にはみられません。

貝類の減少は、近年のアサリの産地偽装事件を引き起こしました。

甲子園や大阪湾各所で何が貝を減少させたのか調べると、その原因が見えてきたのでお話ししたいと思います。

また、近年の気候の温暖化により、南方産の生物が多くみられ、大阪湾沿岸の在来生物がうけた影響について話をしたいと思います。



講師

大阪市立自然史博物館

外来研究員

鍋島 靖信 氏